

THE WORLD ANTI-DOPING CODE

INTERNATIONAL STANDARD



世界アンチ・ドーピング規程

2020年禁止表国際基準

PROHIBITED LIST



WORLD
ANTI-DOPING
AGENCY

play true

2020年1月1日発効

スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

世界アンチ・ドーピング規程

国際基準

The World Anti-Doping Code

INTERNATIONAL
STANDARD

禁止表国際基準

Prohibited List

2020年1月

2020年禁止表国際基準は英語版が原本となります。
本国際基準の英語版と日本語版に差異がある場合には、英語版が優先されます。



目次

2020年禁止表国際基準(日本語)	1
- 2020年禁止表 主要な変更の要約と注釈(日本語)	15
- 2020年禁止表 JADAによる日本語版補足説明	17
2020年禁止表国際基準(原文)	18
- 2020年禁止表 主要な変更の要約と注釈(原文)	26
2020年監視プログラム(日本語)	28
- 2020年監視プログラム 主要な変更の要約と注釈(日本語)	29
2020年監視プログラム(原文)	30
- 2020年監視プログラム 主要な変更の要約と注釈(原文)	31

監視プログラムについて

世界アンチ・ドーピング規程(4.5)では「WADAは、署名当事者及び各国政府との協議に基づき、禁止表に掲載されてはいないが、スポーツにおける濫用のパターンを把握するために監視することを望む物質について監視プログラムを策定するものとする。」と定めています。監視プログラムに掲載される物質は、WADAが監視することを必要と位置付けた物質であり、当該年における禁止物質ではありません。

世界アンチ・ドーピング規程の 4.2.2 条に従い、すべての禁止物質は「特定物質」として扱われる。但し、禁止物質 S1, S2, S4.4, S4.5, S6.a および禁止方法 M1, M2 および M3 は除く。

常に禁止される物質と方法(競技会(時)および競技会外)

禁止物質

S0. 無承認物質

禁止表の以下のどのセクションにも対応せず、人体への治療目的使用が現在どの政府保健医療当局でも承認されていない薬物(例えば、前臨床段階、臨床開発中、あるいは臨床開発が中止になった薬物、デザイナードラッグ、動物への使用のみが承認されている物質)は常に(競技会(時)および競技会外)禁止される。

S1. 蛋白同化薬

蛋白同化薬は禁止される。

1. 蛋白同化男性化ステロイド薬(AAS)

外因的に投与した場合、以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない。

- 1-A 1-アンドロステンジオール (5 α -アンドロスタ-1-エン-3 β ,17 β -ジオール) ;
1-アンドロステンジオン (5 α -アンドロスタ-1-エン-3,17-ジオン) ;
1-アンドロステロン (3 α -ヒドロキシ-5 α -アンドロスタ-1-エン-17-オン) ;
- 1-E 1-エピアンドロステロン (3 β -ヒドロキシ-5 α -アンドロスタ-1-エン-17-オン) ;
- 1-T 1-テストステロン (17 β -ヒドロキシ-5 α -アンドロスタ-1-エン-3-オン) ;
- 4-A 4-アンドロステンジオール (アンドロスタ-4-エン-3 β ,17 β -ジオール) ;
- 4-H 4-ヒドロキシテストステロン (4,17 β -ジヒドロキシアンドロスタ-4-エン-3-オン) ;
- 5 5-アンドロステンジオン (アンドロスタ-5-エン-3,17-ジオン) ;
- 7 α 7 α -ヒドロキシ-DHEA ;
- 7 β 7 β -ヒドロキシ-DHEA ;
- 7 7-ケト-DHEA ;
- 19 19-ノルアンドロステンジオール (エストラ-4-エン-3,17-ジオール) ;
19-ノルアンドロステンジオン (エストラ-4-エン-3,17-ジオン) ;
- A アンドロスタノロン (5 α -ジヒドロテストステロン、17 β -ヒドロキシ-5 α -アンドロスタン-3-オン) ;
アンドロステンジオール (アンドロスタ-5-エン-3 β ,17 β -ジオール) ;
アンドロステンジオン (アンドロスタ-4-エン-3,17-ジオン) ;
- B ボラステロン ;
ボルデノン ;
ボルジオン (アンドロスタ-1,4-ジエン-3,17-ジオン) ;
- C カルステロン ;
クロステボール ;
- D ダナゾール ([1,2]オキサゾロ[4',5':2,3]プレグナ-4-エン-20-イン-17 α -オール) ;

デヒドロクロロメチルテストステロン (4-クロロ-17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルアンドロスタ-1,4-ジエン-3-オン) ;

デスオキシメチルテストステロン (17 α -メチル-5 α -アンドロスタ-2-エン-17 β -オール、17 α -メチル-5 α -アンドロスタ-3-エン-17 β -オール) ;

ドロスタノロン ;

E エピアンドロステロン (3 β -ヒドロキシ-5 α -アンドロスタン-17-オン) ;
エピジヒドロテストステロン (17 β -ヒドロキシ-5 β -アンドロスタン-3-オン) ;
エピテストステロン ;
エチルエストレノール (19-ノルプレグナ-4-エン-17 α -オール) ;

F フルオキシメステロン ;
ホルメボロン ;
フラザボール (17 α -メチル[1,2,5]オキサジアゾロ[3',4':2,3]-5 α -アンドロスタン-17 β -オール) ;

G ゲストリノン ;

M メスタノロン ;
メステロロン ;
メタンジエノン (17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルアンドロスタ-1, 4-ジエン-3-オン) ;
メテノロン ;
メタンドリオール ;
メタステロン (17 β -ヒドロキシ-2 α , 17 α -ジメチル-5 α -アンドロスタン-3-オン) ;
メチル-1-テストステロン (17 β -ヒドロキシ-17 α -メチル-5 α -アンドロスタ-1-エン-3-オン) ;
メチルクロステボール ;
メチルジエノロン (17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルエストラ-4,9-ジエン-3-オン) ;
メチルノルテストステロン (17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルエストラ-4-エン-3-オン) ;
メチルテストステロン ;
メトリボロン (メチルトリエノロン、17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルエストラ-4,9,11-トリエン-3-オン) ;
ミボレロン ;

N ナンドロロン (19-ノルテストステロン) ;
ノルボレトン ;
ノルクロステボール (4-クロロ-17 β -ヒドロキシエストラ-4-エン-3-オン) ;
ノルエタンドロロン ;

O オキサボロン ;
オキサンドロロン ;
オキシメステロン ;
オキシメトロン ;

P プラステロン (デヒドロエピアンドロステロン、DHEA、3 β -ヒドロキシアンドロスタ-5-エン-17-オン) ;

プロスタノゾール (17β-[(テトラヒドロピラン-2-イル)オキシ]-1'H-ピラゾロ [3',4':2,3]-5α-アンドロスタン)；

Q キンボロン；

S スタノゾロール；
ステンボロン；

T テストステロン；

テトラヒドロゲストリノン (17-ヒドロキシ-18α-ホモ-19-ノル-17α-プレグナ-4,9,11-トリエン-3-オン)；

トレンボロン (17β-ヒドロキシエストラ-4,9,11-トリエン-3-オン)；

および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するもの。

2. その他の蛋白同化薬

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- クレンプテロール；
- 選択的アンドロゲン受容体調節薬[SARMs、アンダリン、LGD-4033(リガンドロール)、エノボサルム(オスタリン)、RAD140 等]；
- チボロン；
- ゼラノール；
- ジルパテロール

S2. ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質

以下の物質および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有する物質は禁止される：

1. エリスロポエチン(EPO)および赤血球造血に影響を与える物質

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

1.1 エリスロポエチン受容体作動薬

ダルベポエチン(dEPO)；

エリスロポエチン(EPO)；

EPO の構造に基づいて作製された化合物

[EPO-Fc、メトキシポリエチレングリコール-エポエチンベータ(CERA) 等]；

EPO 模倣ペプチドおよびそれらの作製された化合物

[CNTO-530、ペギネサタイド 等]

等

1.2 低酸素誘導因子(HIF)活性化薬

コバルト；
ダプロデュスタット(GSK1278863)；
モリデュスタット(BAY 85-3934)；
ロキサデュスタット(FG-4592)；
バダデュスタット(AKB-6548)；
キセノン 等

1.3 GATA 阻害薬

K-11706 等

1.4 TGF-ベータ(TGF-β)シグナル伝達阻害薬

ラスパテルセプト；
ソタテルセプト 等

1.5 内因性修復受容体作用薬

アシアロ EPO；
カルバミル化 EPO (CEPO) 等

2. ペプチドホルモンおよびそれらの放出因子

2.1 男性における絨毛性ゴナドトロピン(CG)および黄体形成ホルモン(LH)およびそれらの放出因子

[ブセレリン、デスロレリン、ゴナドレリン、ゴセレリン、リユープロレリン、ナファレリン、トリプトレリン 等]；

2.2 コルチコトロピン類およびそれらの放出因子

コルチコレリン 等；

2.3 成長ホルモン(GH)、その断片および放出因子、以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

成長ホルモン断片

[AOD-9604、hGH 176-191 等]；

成長ホルモン放出ホルモン(GHRH)およびその類似物質

[CJC-1293、CJC-1295、セルモレリン、テサモレリン 等]；

成長ホルモン分泌促進物質(GHS)

[レノモレリン(グレリン)、およびその模倣物質(アナモレリン、イパモレリン、マシモレリン、タビモレリン 等) 等]；

GH-放出ペプチド(GHRPs)

[アレキサモレリン、GHRP-1、GHRP-2 (プラルモレリン)、GHRP-3、GHRP-4、GHRP-5、GHRP-6、エキサモレリン (ヘキサレリン) 等]

3. 成長因子および成長因子調節物質

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- F 線維芽細胞成長因子類(FGFs)；
- H 肝細胞増殖因子(HGF)；
- I インスリン様成長因子-1 (IGF-1)および類似物質；
- M 機械的成長因子類(MGFs)；
- P 血小板由来成長因子(PDGF)；
- T チモシン-β4およびその誘導因子
TB-500 等；
- V 血管内皮増殖因子(VEGF)；

筋、腱あるいは靭帯での蛋白合成/分解、血管新生、エネルギー利用、再生能あるいは筋線維タイプの変換に影響を与える上記以外の成長因子あるいは成長因子調節物質

S3. ベータ 2 作用薬

すべての選択的および非選択的ベータ 2 作用薬は、すべての光学異性体を含めて禁止される。

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- F フェノテロール；
ホルモテロール；
- H ヒゲナミン；
- I インダカテロール；
- O オロダテロール；
- P プロカテロール；
- R レプロテロール；
- S サルブタモール；
サルメテロール；
- T テルブタリン；
トレトキノール (トリメトキノール)；
ツロブテロール；
- V ビランテロール

但し以下のものは除く：

- 吸入サルブタモール (24 時間で最大 1600 μ g、いかなる用量から開始しても 12 時間で 800 μ g を超えないこと)；
- 吸入ホルモテロール (24 時間で最大投与量 54 μ g)；
- 吸入サルメテロール (24 時間で最大 200 μ g)

尿中のサルブタモールが 1000ng/mL、あるいは尿中ホルモテロールが 40ng/mL を越える場合は、治療を意図した使用ではないため、管理された薬物動態研究を通してその異常値が上記の最大治療量以下の吸入使用の結果であることを競技者が立証しないかぎり、違反が疑われる分析報告(AAF)として扱われることになる。

S4. ホルモン調節薬および代謝調節薬

以下のホルモン調節薬および代謝調節薬は禁止される：

1. アロマターゼ阻害薬としては、以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- 2-アンドロステノール (5 α -アンドロスタ-2-エン-17-オール)；
2-アンドロステノン (5 α -アンドロスタ-2-エン-17-オン)；
- 3-アンドロステノール (5 α -アンドロスタ-3-エン-17-オール)；
3-アンドロステノン (5 α -アンドロスタ-3-エン-17-オン)；
- 4-アンドロステン-3,6,17-トリオン (6-オキシ)；
- A アミノグルテチミド；
アナストロゾール；
アンドロスタ-1,4,6-トリエン-3,17-ジオン (アンドロスタトリエンジオン)；
アンドロスタ-3,5-ジエン-7,17-ジオン (アリミスタン)；
- E エキセメスタン；
- F ホルメスタン；
- L レトロゾール；
- T テストラクトン

2. 選択的エストロゲン受容体調節薬(SERMs)としては、以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- B バゼドキシフェン；
- O オスペミフェン；
- R ラロキシフェン；
- T タモキシフェン；
トレミフェン

3. その他の抗エストロゲン作用を有する薬物としては、以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- C** クロミフェン；
シクロフェニル；
- F** フルベストラント

4. アクチビン受容体ⅡB活性化を阻害する物質としては、以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- A** アクチビン-A-中和抗体；
アクチビン受容体ⅡB競合薬 [デコイアクチビン受容体(ACE-031 等)]；
抗アクチビン受容体ⅡB抗体[ビマグルマブ 等]；
- M** ミオスタチン阻害薬：
ミオスタチン発現を減少あるいは除去する物質；
ミオスタチン結合蛋白[フォリスタチン、ミオスタチンプロペプチド 等]；
ミオスタチン中和抗体[ドマグロズマブ、ランドグロズマブ、スタムルマブ 等]

5. 代謝調節薬：

- 5.1** AMP活性化プロテインキナーゼ(AMPK)の活性化薬[AICAR、SR9009 等]；
ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体 δ (PPAR δ)作動薬
[2-[2-メチル-4-[4-メチル-2-[4-トリフルオロメチルフェニル]チアゾール-5-
イル]メチルチオ]フェノキシ酢酸(GW1516、GW501516) 等]；
- 5.2** インスリン類およびインスリン模倣物質；
- 5.3** メルドニウム；
- 5.4** トリメタジジン

S5. 利尿薬および隠蔽薬

以下の利尿薬と隠蔽薬、および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有する物質は禁止される。

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- デスモプレシン；プロベネシド；血漿増量物質 [アルブミン、デキストラン、ヒドロキシエチルデンプン、マンニトールのいずれも静脈内投与 等]；
- アセタゾラミド；アミロライド；ブメタニド；カンレノン；クロルタリドン；エタクリン酸；フロセミド；インダパミド；メトラゾン；スピロラクトン；チアジド類[ベンドロフルメチアジド、クロロチアジド、ヒドロクロロチアジド 等]；トリアムテレン、バプタン類[トルバプタン 等]

但し以下のものは除く：

- ドロスピレノン；パマブロム；および眼科用に使用される炭酸脱水酵素阻害薬 [ドルゾラミド、布林ゾラミド 等]；
- 歯科麻酔におけるフェリプレシンの局所投与

常に(競技会(時)および競技会外)、あるいは*競技会(時)*それぞれの場合に応じて、利尿薬もしくは隠蔽薬とともに、閾値水準が設定されている物質(ホルモテロール、サルブタモール、カチン、エフェドリン、メチルエフェドリン、プソイドエフェドリン)がいかなる用量でも*競技者の検体*から検出される場合は、*競技者*に対して、利尿薬もしくは隠蔽薬に加え、閾値水準が設定されている物質についても*治療使用特例(TUE)*が承認されていない限り、違反が疑われる*分析報告(AAF)*として扱われることになる。

禁止方法

M1. 血液および血液成分の操作

以下の事項が禁止される：

1. 自己血、他者血(同種血)、異種血又はすべての赤血球製剤をいかなる量でも循環系へ投与するあるいは再び戻すこと。
 2. 酸素摂取や酸素運搬、酸素供給を人為的に促進すること[過フルオロ化合物；エファプロキシラール(RSR13)、修飾ヘモグロビン製剤(ヘモグロビンを基にした血液代替物質、ヘモグロビンのマイクロカプセル製剤等)が含まれるが、これらに限定するものではない]。但し、吸入による酸素自体の補給は除く。
 3. 血液あるいは血液成分を物理的あるいは化学的手段を用いて血管内操作すること。
-

M2. 化学的および物理的操作

以下の事項が禁止される：

1. ドーピング・コントロールで採取された検体の完全性及び有効性を変化させるために改ざん又は改ざんしようとすることは禁止される。これらには検体のすり替え、検体の改質[検体への蛋白分解酵素の追加等]などが含まれるが、これらに限定するものではない。
 2. 静脈内注入および/又は静脈注射で、12時間あたり計100mLを超える場合は禁止される。但し、入院設備を有する医療機関での治療およびその受診過程、外科手術、又は臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
-

M3. 遺伝子および細胞ドーピング

以下の競技能力を高める可能性のある事項は禁止される：

1. 何らかの作用機序によってゲノム配列および/又は遺伝子発現を変更する可能性がある核酸又は核酸類似物質の使用。以下の方法が禁止されるが、これらに限定するものではない：遺伝子編集、遺伝子サイレンシングおよび遺伝子導入技術。
2. 正常なあるいは遺伝子を修飾した細胞の使用。

競技会(時)に禁止される物質と方法

前文 S0～S5、M1～M3 に加えて、以下の分類は *競技会(時)* において禁止される。

禁 止 物 質

S6. 興奮薬

すべての興奮薬(関連するすべての光学異性体[*d*体および *l*体]等を含む)は禁止される。

興奮薬には以下の物質が含まれる：

a: 特定物質でない興奮薬：

- [A] アドラフィニル；
アンフェプラモン；
アンフェタミン；
アンフェタミニル；
アミフェナゾール；
- [B] ベンフルオレックス；
ベンジルピペラジン；
ブロマンタン；
- [C] クロベンゾレックス；
コカイン；
クロプロパミド；
クロテタミド；
- [F] フェンカミン；
フェネチリン；
フェンフルラミン；
フェンプロポレックス；
フォンツラセタム[4-フェニルピラセタム(カルフェドン)]；
フルフェノレックス；
- [L] リスデキサアンフェタミン；
- [M] メフェノレックス；
メフェンテルミン；
メソカルブ；
メタンフェタミン(*d*体)；
p-メチルアンフェタミン；
モダフィニル；
- [N] ノルフェンフルラミン；
- [P] フェンジメトラジン；
フェンテルミン；
プレニラミン；

プロリンタン

このセクションに掲載されていない興奮薬は**特定物質**である。

b: 特定物質である興奮薬

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- 3** 3-メチルヘキサン-2-アミン(1,2-ジメチルペンチルアミン)；
- 4** 4-メチルヘキサン-2-アミン(メチルヘキサンアミン)；
4-メチルペンタン-2-アミン(1,3-ジメチルブチルアミン)；
- 5** 5-メチルヘキサン-2-アミン(1,4-ジメチルペンチルアミン)；
- B** ベンズフェタミン；
- C** カチン**；
カチノンおよびその類似物[メフェドロン、メテドロン、 α -ピロリジノバレロフェノン等]；
- D** ジメタンフェタミン(ジメチルアンフェタミン)；
- E** エフェドリン***；
エピネフリン****(アドレナリン)；
エタミバン；
エチルアンフェタミン；
エチレフリン；
- F** ファンプロファゾン；
フェンブトラザート；
フェンカンファミン；
- H** ヘプタミノール；
ヒドロキシアンフェタミン(パラヒドロキシアンフェタミン)；
- I** イソメテプテン；
- L** レブメタンフェタミン；
- M** メクロフェノキサート；
メチレンジオキシメタンフェタミン；
メチルエフェドリン***；
メチルフェニデート；
- N** ニケタミド；
ノルフェネフリン；
- O** オクトドリン(1,5-ジメチルヘキシルアミン)；
オクトパミン；
オキシロフリン(メチルシネフリン)；
- P** ペモリン；
ペンテトラゾール；

フェネチルアミンおよびその誘導体；
フェンメトラジン；
フェンプロメタミン；
プロピルヘキセドリン；
プソイドエフェドリン*****；

- [S] セレギリン；
シブトラミン；
ストリキニーネ；
[T] テナンフェタミン(メチレンジオキシアンフェタミン)；
ツアミノヘプタン；

および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するもの。

但し以下のものは除く：

- クロニジン
- 皮膚、鼻あるいは眼科用に使用されるイミダゾール誘導体および 2020 年監視プログラム*に含まれる興奮薬

* ブプロピオン、カフェイン、ニコチン、フェニレフリン、フェニルプロパノールアミン、ピプラドロール、シネフリン：これらの物質は 2020 年監視プログラムに含まれ、**禁止物質**とみなさない。

** カチン：尿中濃度 5 μ g /mL を超える場合は禁止される。

*** エフェドリンとメチルエフェドリン：尿中濃度 10 μ g/mL を超える場合は禁止される。

**** エピネフリン(アドレナリン)：局所使用[鼻、眼等]あるいは局所麻酔薬との同時投与は禁止されない。

***** プソイドエフェドリン：尿中濃度 150 μ g/mL を超える場合は禁止される。

S7. 麻薬

以下の麻薬(関連するすべての光学異性体[d体および l体]等を含む)は禁止される：

- [B] ブプレノルフィン；
[D] デキストロモラミド；
ジアモルヒネ(ヘロイン)；
[F] フェンタニルおよびその誘導体；
[H] ヒドロモルフォン；
[M] メサドン；
モルヒネ；
[N] ニコモルフィン；
[O] オキシコドン；

オキシモルフォン；

P ペンタゾシン；

ペチジン

※JADA 訳注：このセクションには国内法の麻薬以外の物質が含まれる。

S8. カンナビノイド

全ての天然および合成カンナビノイドは禁止される。

- 大麻由来物質[ハシシュ/マリファナ]および大麻製品
 - 天然および合成テトラヒドロカンナビノール(THCs)
 - THC の効果を模倣する合成カンナビノイド
- 等

但し以下のものは除く：

- カンナビジオール
-

S9. 糖質コルチコイド

糖質コルチコイドの経口使用、静脈内使用、筋肉内使用又は経直腸使用はすべて禁止される。

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

B ベタメタゾン；

ブデソニド；

C コルチゾン；

D デフラザコート；

デキサメタゾン；

F フルチカゾン；

H ヒドロコルチゾン；

M メチルプレドニゾロン；

P プレドニゾロン；

プレドニゾン；

T トリアムシノロン

特定競技において禁止される物質

P1. ベータ遮断薬

ベータ遮断薬は、以下の競技種目において *競技会(時)*に限って禁止される。指示がある場合は *競技会外*においても禁止される。

- アーチェリー(世界アーチェリー連盟：WA)*
- 自動車(国際自動車連盟：FIA)
- ビリヤード(全ての種目)(世界ビリヤード・スポーツ連合：WCBS)
- ダーツ(世界ダーツ連盟：WDF)
- ゴルフ(国際ゴルフ連盟：IGF)
- 射撃(国際射撃連盟：ISSF、国際パラリンピック委員会：IPC)*
- スキー/スノーボード(国際スキー連盟：FIS)ージャンプ、フリースタイル(エアリアル/ハーフパイプ)、スノーボード(ハーフパイプ/ビッグエアー)
- 水中スポーツ(世界水中連盟：CMAS)コンスタント-ウェイト アプネア(フィンありフィンなし)、ダイナミック アプネア(フィンありフィンなし)、フリーイマージョン アプネア、ジャンプ ブルー アプネア、スピアフィッシング、スタティック アプネア、ターゲットシューティングおよびバリエブル ウェイト アプネア

**競技会外*においても禁止される。

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- | | |
|-------------------|---------------------|
| A アセトロール； | L ラベタロール； |
| アルプレノロール； | M メチプラノロール； |
| アテノロール； | メトプロロール； |
| B ベタキソロール； | N ナドロール； |
| ビソプロロール； | O オクスプレノロール； |
| ブノロール； | P ピンドロール； |
| C カルテオロール； | プロプラノロール； |
| カルベジロール； | S ソタロール； |
| セリプロロール； | T チモロール |
| E エスマロール； | |

2020年禁止表 主要な変更の要約と注釈

常に禁止される物質と方法(競技会(時)および競技会外)

禁止物質

S1. 蛋白同化薬

1. 蛋白同化男性化ステロイド薬(AAS)

- 蛋白同化男性化ステロイド薬(AAS)の下位分類である"a.外因性 AAS"と"b.外因的に投与した場合の内因性 AAS"を削除し、すべてのAASを1つの分類に統合した。S1の禁止物質に変更はないが、2つの例示(メチルクロステポールおよび1-エピアンドロステロン)を追加した。この変更は、外因的に投与した際にはすべての蛋白同化薬が禁止されている現状を反映させ、外因性と内因性を区別していない他のカテゴリーとS1とで表記の整合性をとるためである。物質の由来元の決定(例えば、内因性か外因性であるかどうか)は、従来通り、当該のテクニカルドキュメント TD2019IRMS やその他の適用されるテクニカルドキュメント(TD2019NA 等)やテクニカルレターにより規定される。

2. その他の蛋白同化薬

- LGD-4033 は、現在、一般的に用いられているもう一つの名前であるリガンドロールも掲載した。

S2. ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質

- 再評価後、もはや基準を満たさないと考えられたため、アルゴンは禁止表から削除した。
- TGF-β阻害薬:掲載された物質の主な作用メカニズムをより反映させるため"シグナル伝達"という文言を追加した。現在は"TGF-βシグナル伝達阻害薬"とした。

S4. ホルモン調節薬および代謝調節薬

- バゼドキシフェンおよびオスペミフェンを選択的エストロゲン受容体調節薬の例として追加した。

禁止方法

M2. 化学的および物理的操作

- 蛋白分解酵素の禁止が検体の改ざんに対してのみ言及していることを明確にするため、表現を変更した。蛋白分解酵素の局所および全身的な治療使用は禁止されない。

M3. 遺伝子および細胞ドーピング

- 遺伝子発現に対する遺伝子ドーピングの効果は、遺伝子編集以外の技術によっても得られる可能性があるため M3.1 と M3.2 の分類を統合した。
- 遺伝子発現を変え得るすべての機序を網羅的に記載するのではなく、かつ広範囲にわたるメカニズムが含まれるように、"遺伝子発現の転写制御、転写後制御、又はエピジェネティック制御"は、"何らかの作用機序によって遺伝子発現を変更する可能性がある"へと変更した。
- "遺伝子サイレンシング"と"遺伝子導入"を更なる遺伝子ドーピング方法の例として追加した。
- 核酸に対する標準的な科学用語を反映し、"ポリマー"を削除した。
- 幹細胞に関しては、禁止表 Q&A の記載を繰り返すが、それらが患部の機能を正常へ回復させ、正常を越えて増強しない限り、外傷治癒のために形質転換をしていない幹細胞を単独(成長因子あるいは他のホルモン類を併用しない)で使用することを禁止するものではない。

競技会(時)に禁止される物質と方法

S6. 興奮薬

- オクトドリン(1,5-ジメチルヘキシルアミン)を特定物質である興奮薬の例として追加した。この物質は、近年、いくつかの栄養補助食品中で検出されている。
- 皮膚、鼻および眼科用経路によって使用されるイミダゾール誘導体が禁止されない投与方法であることを明確にした。

S7. 麻薬

- 明確にするため、すべての光学異性体が禁止されることを明示した。これにより、レボメタドンのような光学異性体も禁止されていることを明確にした。

S8. カンナビノイド

- S8 カンナビノイドの文言をより明確にするため更新した。禁止物質は変更されていない。全ての天然および合成カンナビノイドは禁止されており、これには大麻から調製した物質や合成カンナビノイドも含まれている。天然 Δ 9-テトラヒドロカンナビノール(THC)および合成THC(ドロナビノール等)は禁止される。THCの効果を模倣した全ての合成カンナビノイドは禁止される。
- カンナビジオール(CBD)は禁止されない。しかし、大麻植物から抽出されたCBD製品によってはTHCを含む可能性がある。従って、CBD製品でも禁止物質が検出されて陽性結果となる可能性があることにアスリートは注意すべきである。

* 以前の変更と説明の詳細については、www.wada-ama.org/en/questions-answers/prohibited-list-qaにある禁止表 Q&A を参照されたい。

2020 年禁止表国際基準 JADA による日本語版補足説明

2020 年禁止表国際基準(日本語版)は、より明瞭な日本語版を作成するため、2019 年から 2020 年
にかけ英語原文に変更がない箇所においても一部の日本語訳を変更した。また、一部物質名につい
ては英語版の表記と異なり、日本語版のみ命名法に従い正確に訳した。変更箇所は以下のとおり。

禁止表 分類	英語版	2019 年日本語版	2020 年日本語版	
			該当頁	変更内容
S1	norclostebol(4-chloro- 17 β - ol-estr -4-en-3-one)	ノルクロステボール	2 頁	ノルクロステボール(4-クロ ロ-17 β -ヒドロキシエスト ラ-4-エン-3-オン)
S5	Amiloride	アミロリド	7 頁	アミロライド

SUBSTANCES & METHODS PROHIBITED AT ALL TIMES

(IN- AND OUT-OF-COMPETITION)

IN ACCORDANCE WITH ARTICLE 4.2.2 OF THE WORLD ANTI-DOPING CODE, ALL *PROHIBITED SUBSTANCES* SHALL BE CONSIDERED AS "*SPECIFIED SUBSTANCES*" EXCEPT SUBSTANCES IN CLASSES S1, S2, S4.4, S4.5, S6.A, AND *PROHIBITED METHODS* M1, M2 AND M3.

PROHIBITED SUBSTANCES

S0 NON-APPROVED SUBSTANCES

Any pharmacological substance which is not addressed by any of the subsequent sections of the *List* and with no current approval by any governmental regulatory health authority for human therapeutic use (e.g. drugs under pre-clinical or clinical development or discontinued, designer drugs, substances approved only for veterinary use) is prohibited at all times.

S1 ANABOLIC AGENTS

Anabolic agents are prohibited.

1. ANABOLIC ANDROGENIC STEROIDS (AAS)

when administered exogenously, including but not limited to:

1-Androstenediol (5 α -androst-1-ene-3 β ,17 β -diol);
1-Androstenedione (5 α -androst-1-ene-3,17-dione);
1-Androsterone (3 α -hydroxy-5 α -androst-1-ene-17-one);
1-Epiandrosterone (3 β -hydroxy-5 α -androst-1-ene-17-one);
1-Testosterone (17 β -hydroxy-5 α -androst-1-en-3-one);
4-Androstenediol (androst-4-ene-3 β ,17 β -diol);
4-Hydroxytestosterone (4,17 β -dihydroxyandrost-4-en-3-one);
5-Androstenedione (androst-5-ene-3,17-dione);
7 α -hydroxy-DHEA;
7 β -hydroxy-DHEA;
7-Keto-DHEA;
19-Norandrostenediol (estr-4-ene-3,17-diol);
19-Norandrostenedione (estr-4-ene-3,17-dione);
Androstanolone (5 α -dihydrotestosterone, 17 β -hydroxy-5 α -androst-3-one);
Androstenediol (androst-5-ene-3 β ,17 β -diol);
Androstenedione (androst-4-ene-3,17-dione);
Bolasterone;
Boldenone;
Boldione (androsta-1,4-diene-3,17-dione);

Calusterone;
Clostebol;
Danazol ([1,2]oxazolo[4',5':2,3]pregna-4-en-20-yn-17 α -ol);
Dehydrochlormethyltestosterone (4-chloro-17 β -hydroxy-17 α -methylandrosta-1,4-dien-3-one);
Desoxymethyltestosterone (17 α -methyl-5 α -androst-2-en-17 β -ol and 17 α -methyl-5 α -androst-3-en-17 β -ol);
Drostanolone;
Epiandrosterone (3 β -hydroxy-5 α -androst-17-one);
Epi-dihydrotestosterone (17 β -hydroxy-5 β -androst-3-one);
Epitestosterone;
Ethylestrenol (19-norpregna-4-en-17 α -ol);
Fluoxymesterone;
Formebolone;
Furazabol (17 α -methyl [1,2,5]oxadiazolo[3',4':2,3]-5 α -androst-17 β -ol);
Gestrinone;
Mestanolone;
Mesterolone;
Metandienone (17 β -hydroxy-17 α -methylandrosta-1,4-dien-3-one);
Metenolone;
Methandriol;
Methasterone (17 β -hydroxy-2 α ,17 α -dimethyl-5 α -androst-3-one);
Methyl-1-testosterone (17 β -hydroxy-17 α -methyl-5 α -androst-1-en-3-one);
Methylclostebol;
Methyldienolone (17 β -hydroxy-17 α -methylestra-4,9-dien-3-one);
Methylnortestosterone (17 β -hydroxy-17 α -methylestr-4-en-3-one);
Methyltestosterone;
Metribolone (methyltrienolone, 17 β -hydroxy-17 α -methylestra-4,9,11-trien-3-one);
Mibolerone;
Nandrolone (19-nortestosterone);
Norboletone;

Norclostebol [4-chloro-17 β -ol-estr-4-en-3-one];
 Norethandrolone;
Oxabolone;
 Oxandrolone;
 Oxymesterone;
 Oxymetholone;
Prasterone (dehydroepiandrosterone, DHEA,
 3 β -hydroxyandrost-5-en-17-one);
 Prostanazol [17 β -[[tetrahydropyran-2-yl]oxy]-1'H-
 pyrazolo[3,4:2,3]-5 α -androstane];
Quinbolone;
Stanozolol;
 Stenbolone;
Testosterone;
 Tetrahydrogestrinone (17-hydroxy-18 α -homo-19-nor-17 α -
 pregna-4,9,11-trien-3-one);
 Trenbolone (17 β -hydroxyestr-4,9,11-trien-3-one);

and other substances with a similar chemical structure
 or similar biological effect(s).

.....
2. OTHER ANABOLIC AGENTS

Including, but not limited to:

Clenbuterol, selective androgen receptor modulators
 [SARMs, e.g. andarine, LGD-4033 (ligandrol), enobosarm
 (ostarine) and RAD140], tibolone, zeranol and zilpaterol.

**S2 PEPTIDE HORMONES, GROWTH FACTORS,
 RELATED SUBSTANCES, AND MIMETICS**

The following substances, and other substances with
 similar chemical structure or similar biological effect(s),
 are prohibited:

**1. Erythropoietins (EPO) and agents affecting erythropoiesis,
 including, but not limited to:**

- 1.1 Erythropoietin-Receptor Agonists, e.g.**
 Darbepoetins (dEPO);
 Erythropoietins (EPO);
 EPO based constructs [e.g. EPO-Fc, methoxy polyeth-
 ylene glycol-epoetin beta (CERA)];
 EPO-mimetic agents and their constructs
 (e.g. CNTO-530, peginesatide).

- 1.2 Hypoxia-inducible factor (HIF) activating agents, e.g.**
 Cobalt;
 Daprodustat (GSK1278863);
 Molidustat (BAY 85-3934);
 Roxadustat (FG-4592);
 Vadadustat (AKB-6548);
 Xenon.

- 1.3 GATA inhibitors, e.g.**
 K-11706.

- 1.4 TGF-beta (TGF- β) signalling inhibitors, e.g.**
 Luspatercept;
 Sotatercept.

- 1.5 Innate repair receptor agonists, e.g.**
 Asialo EPO;
 Carbamylated EPO (CEPO).

2. Peptide Hormones and their Releasing Factors,

2.1 Chorionic Gonadotrophin (CG) and Luteinizing Hormone (LH) and their releasing factors in males, e.g. Buserelin, deslorelin, gonadorelin, goserelin, leuprorelin, nafarelin and triptorelin;

2.2 Corticotrophins and their releasing factors, e.g. Corticorelin;

2.3 Growth Hormone (GH), its fragments and releasing factors, including, but not limited to:
Growth Hormone fragments, e.g. AOD-9604 and hGH 176-191;
Growth Hormone Releasing Hormone (GHRH) and its analogues, e.g. CJC-1293, CJC-1295, sermorelin and tesamorelin;
Growth Hormone Secretagogues (GHS), e.g. Lenomorelin (ghrelin) and its mimetics, e.g. Anamorelin, ipamorelin, macimorelin and tabimorelin;
GH-Releasing Peptides (GHRPs), e.g. Alexamorelin, GHRP-1, GHRP-2 (pralmorelin), GHRP-3, GHRP-4, GHRP-5, GHRP-6, and examorelin (hexarelin).

3. Growth Factors and Growth Factor Modulators, including, but not limited to:

Fibroblast Growth Factors (FGFs);
Hepatocyte Growth Factor (HGF);
Insulin-like Growth Factor-1 (IGF-1) and its analogues;
Mechano Growth Factors (MGFs);
Platelet-Derived Growth Factor (PDGF);
Thymosin- β 4 and its derivatives e.g. TB-500;
Vascular-Endothelial Growth Factor (VEGF);

and other growth factors or growth factor modulators affecting muscle, tendon or ligament protein synthesis/ degradation, vascularisation, energy utilization, regenerative capacity or fibre type switching.

S3 BETA-2 AGONISTS

All selective and non-selective beta-2 agonists, including all optical isomers, are prohibited.

Including, but not limited to:

Fenoterol;
Formoterol;
Higenamine;
Indacaterol;
Olodaterol;
Procaterol;
Reproterol;
Salbutamol;
Salmeterol;
Terbutaline;
Tretoquinol (trimetoquinol);
Tulobuterol;
Vilanterol.

Except:

- Inhaled salbutamol: maximum 1600 micrograms over 24 hours in divided doses not to exceed 800 micrograms over 12 hours starting from any dose;
- Inhaled formoterol: maximum delivered dose of 54 micrograms over 24 hours;
- Inhaled salmeterol: maximum 200 micrograms over 24 hours.

The presence in urine of salbutamol in excess of 1000 ng/mL or formoterol in excess of 40 ng/mL is not consistent with therapeutic use of the substance and will be considered as an *Adverse Analytical Finding (AAF)* unless the *Athlete* proves, through a controlled pharmacokinetic study, that the abnormal result was the consequence of a therapeutic dose (by inhalation) up to the maximum dose indicated above.

S4 HORMONE AND METABOLIC MODULATORS

The following hormone and metabolic modulators are prohibited:

1. Aromatase inhibitors including, but not limited to:

- 2-Androst-enol** (5 α -androst-2-en-17-ol);
- 2-Androst-enone (5 α -androst-2-en-17-one);
- 3-Androst-enol** (5 α -androst-3-en-17-ol);
- 3-Androst-enone (5 α -androst-3-en-17-one);
- 4-Androst-ene-3,6,17-trione** (6-oxo);
- Aminoglutethimide**;
- Anastrozole;
- Androsta-1,4,6-triene-3,17-dione (androstatrienedione);
- Androsta-3,5-diene-7,17-dione (arimistane);
- Exemestane**;
- Formestane**;
- Letrozole**;
- Testolactone**.

2. Selective estrogen receptor modulators (SERMs) including, but not limited to:

- Bazedoxifene**;
- Ospemifene**;
- Raloxifene**;
- Tamoxifen**;
- Toremifene**.

3. Other anti-estrogenic substances including, but not limited to:

- Clomifene**;
- Cyclofenil;
- Fulvestrant**.

4. Agents preventing activin receptor IIB activation including, but not limited, to:

- Activin A-neutralizing antibodies**;
- Activin receptor IIB competitors such as:
 - Decoy activin receptors (e.g. ACE-031);
 - Anti-activin receptor IIB antibodies (e.g. Bimagrumab);
- Myostatin inhibitors** such as:
 - Agents reducing or ablating myostatin expression;
 - Myostatin-binding proteins (e.g. Follistatin, myostatin propeptide);
 - Myostatin-neutralizing antibodies (e.g. Domagrozumab,

landogrozumab, stamulumab).

5. Metabolic modulators:

- 5.1** Activators of the AMP-activated protein kinase (AMPK), e.g. AICAR, SR9009; and Peroxisome Proliferator Activated Receptor δ (PPAR δ) agonists, e.g. 2-[2-methyl-4-[(4-methyl-2-[4-(trifluoromethyl)phenyl]thiazol-5-yl)methylthio]phenoxy]acetic acid (GW1516, GW501516);
- 5.2** Insulins and insulin-mimetics;
- 5.3** Meldonium;
- 5.4** Trimetazidine.

S5 DIURETICS AND MASKING AGENTS

The following diuretics and masking agents are prohibited, as are other substances with a similar chemical structure or similar biological effect(s).

Including, but not limited to:

- Desmopressin; probenecid; plasma expanders, e.g. intravenous administration of albumin, dextran, hydroxyethyl starch and mannitol.
- Acetazolamide; amiloride; bumetanide; canrenone; chlortalidone; etacrynic acid; furosemide; indapamide; metolazone; spironolactone; thiazides, e.g. Bendroflumethiazide, chlorothiazide and hydrochlorothiazide; triamterene and vaptans, e.g. Tolvaptan.

Except:

- Drospirenone; pamabrom; and ophthalmic use of carbonic anhydrase inhibitors (e.g. Dorzolamide, brinzolamide);
- Local administration of felypressin in dental anaesthesia.

The detection in an *Athlete's Sample* at all times or *In-Competition*, as applicable, of any quantity of the following substances subject to threshold limits: formoterol, salbutamol, cathine, ephedrine, methylephedrine and pseudoephedrine, in conjunction with a diuretic or masking agent, will be considered as an *Adverse Analytical Finding (AAF)* unless the *Athlete* has an approved *Therapeutic Use Exemption (TUE)* for that substance in addition to the one granted for the diuretic or masking agent.

PROHIBITED METHODS

M1 MANIPULATION OF BLOOD AND BLOOD COMPONENTS

The following are prohibited:

1. The *Administration* or reintroduction of any quantity of autologous, allogenic (homologous) or heterologous blood, or red blood cell products of any origin into the circulatory system.
2. Artificially enhancing the uptake, transport or delivery of oxygen.
Including, but not limited to:
Perfluorochemicals; efaproxiral (RSR13) and modified haemoglobin products, e.g. Haemoglobin-based blood substitutes and microencapsulated haemoglobin products, excluding supplemental oxygen by inhalation.
3. Any form of intravascular manipulation of the blood or blood components by physical or chemical means.

M2 CHEMICAL AND PHYSICAL MANIPULATION

The following are prohibited:

1. *Tampering*, or *Attempting to Tamper*, to alter the integrity and validity of *Samples* collected during *Doping Control*.
Including, but not limited to:
Sample substitution and/or adulteration, e.g. Addition of proteases to *Sample*.
2. Intravenous infusions and/or injections of more than a total of 100 mL per 12 hour period except for those legitimately received in the course of hospital treatments, surgical procedures or clinical diagnostic investigations.

M3 GENE AND CELL DOPING

The following, with the potential to enhance sport performance, are prohibited:

1. The use of nucleic acids or nucleic acid analogues that may alter genome sequences and/or alter gene expression by any mechanism. This includes but is not limited to gene editing, gene silencing and gene transfer technologies.
3. The use of normal or genetically modified cells.

SUBSTANCES & METHODS PROHIBITED *IN-COMPETITION*

IN ADDITION TO THE CLASSES S0 TO S5 AND M1 TO M3 DEFINED ABOVE, THE FOLLOWING CLASSES ARE PROHIBITED *IN-COMPETITION*:

PROHIBITED SUBSTANCES

S6

STIMULANTS

All stimulants, including all optical isomers, e.g. *d*- and *l*- where relevant, are prohibited.

Stimulants include:

a: Non-Specified Stimulants:

Adrafinil;
Amfepramone;
Amfetamine;
Amfetaminil;
Amiphenazole;
Benfluorex;
Benzylpiperazine;
Bromantan;
Clobenzorex;
Cocaine;
Cropropamide;
Crotetamide;
Fencamine;
Fenetylline;
Fenfluramine;
Fenproporex;
Fonturacetam [4-phenylpiracetam (carphedon)];
Furfenorex;
Lisdexamfetamine;
Mefenorex;
Mephentermine;
Mesocarb;
Metamfetamine(*d*-);
p-methylamfetamine;
Modafinil;
Norfenfluramine;
Phendimetrazine;
Phentermine;
Prenylamine;
Prolintane.

A stimulant not expressly listed in this section is a *Specified Substance*.

b: Specified Stimulants:

Including, but not limited to:

3-Methylhexan-2-amine (1,2-dimethylpentylamine);
4-Methylhexan-2-amine (methylhexaneamine);
4-Methylpentan-2-amine (1,3-dimethylbutylamine);
5-Methylhexan-2-amine (1,4-dimethylpentylamine);
Benzfetamine;
Cathine**;
Cathinone and its analogues, e.g. mephedrone, methedrone, and α - pyrrolidinovalerophenone;
Dimetamfetamine (dimethylamphetamine);
Ephedrine***;
Epinephrine**** (adrenaline);
Etamivan;
Etilamfetamine;
Etilefrine;
Famprofazone;
Fenbutrazate;
Fencamfamin;
Heptaminol;
Hydroxyamfetamine (parahydroxyamphetamine);
Isometheptene;
Levmetamfetamine;
Meclofenoxate;
Methylenedioxymethamphetamine;
Methylephedrine***;
Methylphenidate;
Nikethamide;
Norfenefrine;
Octodrine (1,5-dimethylhexylamine);
Octopamine;
Oxilofrine (methylnephrine);
Pemoline;
Pentetrazol;
Phenethylamine and its derivatives;
Phenmetrazine;
Phenpromethamine;
Propylhexedrine;
Pseudoephedrine*****;

Selegiline;
Sibutramine;
Strychnine;
Tenamfetamine (methylenedioxyamphetamine);
Tuaminoheptane;

and other substances with a similar chemical structure or similar biological effect(s).

Except:

- Clonidine;
- Imidazole derivatives for dermatological, nasal or ophthalmic use and those stimulants included in the 2020 Monitoring Program*.

* Bupropion, caffeine, nicotine, phenylephrine, phenylpropanolamine, pipradrol, and synephrine: These substances are included in the 2020 Monitoring Program, and are not considered *Prohibited Substances*.

** Cathine: Prohibited when its concentration in urine is greater than 5 micrograms per milliliter.

*** Ephedrine and methylephedrine: Prohibited when the concentration of either in urine is greater than 10 micrograms per milliliter.

**** Epinephrine (adrenaline): Not prohibited in local administration, e.g. nasal, ophthalmologic, or co-administration with local anaesthetic agents.

***** Pseudoephedrine: Prohibited when its concentration in urine is greater than 150 micrograms per milliliter.

S7 NARCOTICS

The following narcotics, including all optical isomers, e.g. *d-* and *l-* where relevant, are prohibited:

Buprenorphine;
Dextromoramide;
Diamorphine (heroin);
Fentanyl and its derivatives;
Hydromorphone;
Methadone;
Morphine;
Nicomorphine;
Oxycodone;
Oxymorphone;
Pentazocine;
Pethidine.

S8 CANNABINOIDS

All natural and synthetic cannabinoids are prohibited, e.g.

- In cannabis (hashish, marijuana) and cannabis products
- Natural and synthetic tetrahydrocannabinols (THCs)
- Synthetic cannabinoids that mimic the effects of THC

Except:

- Cannabidiol.

S9 GLUCOCORTICOIDS

All glucocorticoids are prohibited when administered by oral, intravenous, intramuscular or rectal routes.

Including but not limited to:

Betamethasone;
Budesonide;
Cortisone;
Deflazacort;
Dexamethasone;
Fluticasone;
Hydrocortisone;
Methylprednisolone;
Prednisolone;
Prednisone;
Triamcinolone.

SUBSTANCES PROHIBITED IN PARTICULAR SPORTS

P1 BETA-BLOCKERS

Beta-blockers are prohibited *In-Competition* only, in the following sports, and also prohibited *Out-of-Competition* where indicated.

- Archery (WA)*
- Automobile (FIA)
- Billiards (all disciplines) (WCBS)
- Darts (WDF)
- Golf (IGF)
- Shooting (ISSF, IPC)*
- Skiing/Snowboarding (FIS) in ski jumping, freestyle aerials/halfpipe and snowboard halfpipe/big air
- Underwater sports (CMAS) in constant-weight apnoea with or without fins, dynamic apnoea with and without fins, free immersion apnoea, Jump Blue apnoea, spearfishing, static apnoea, target shooting, and variable weight apnoea.

*Also prohibited *Out-of-Competition*

Including, but not limited to:

A cebutolol;	L abetalol;
A lprenolol;	M etipranolol;
A tenolol;	M etoprolol;
B etaxolol;	N adolol;
B isoprolol;	O xprenolol;
B unolol;	P indolol;
C arteolol;	P ropranolol;
C arvedilol;	S otalol;
C eliprolol;	T imolol.
E smolol;	

SUMMARY OF MAJOR MODIFICATIONS AND EXPLANATORY NOTES

2020 PROHIBITED LIST

Substances and methods prohibited at all times (In- and Out-of-Competition)

Prohibited Substances

S1 ANABOLIC AGENTS

1 Anabolic Androgenic Steroids (AAS)

- The sub-division of anabolic androgenic steroids (AAS) into 'a. exogenous' and 'b. endogenous' was removed and all AAS were joined into one class. The prohibited substances in S1 have not changed but two additional examples (methylclostebol and 1-epiandrosterone) were included. This change was made to reflect the fact that all anabolic agents when administered exogenously are prohibited and harmonizes the presentation of S1 with other classes of the List which do not distinguish endogenous from exogenous. The determination of the substances' origin (i.e. whether they are of endogenous or exogenous nature) is, as before, regulated in the corresponding technical document TD2019IRMS or any other applicable technical document (e.g. TD2019NA) or Technical Letter.

2 Other Anabolic Agents

- LGD-4033 is now also listed by another commonly used name, ligandrol.

S2 PEPTIDE HORMONES, GROWTH FACTORS, RELATED SUBSTANCES, AND MIMETICS

- After re-evaluation, argon was removed from the Prohibited List because it is considered to no longer meet the criteria for inclusion.
- TGF- β inhibitors: The word "signalling" was added to better reflect the predominant mechanism of action of the listed substances. It now reads "TGF- β signalling inhibitors".

S4 HORMONE AND METABOLIC MODULATORS

- Bazedoxifene and ospemifene were added as additional examples of selective estrogen receptor modulators.

Prohibited Methods

M2 CHEMICAL AND PHYSICAL MANIPULATION

- The wording was changed to clarify that the context of protease prohibition refers only to the tampering of samples. Topical and systemic therapeutic use of proteases are not prohibited.

M3 GENE AND CELL DOPING

- Classes M3.1 and M3.2 were combined, since the effects of gene doping on gene expression can be produced by technologies other than gene editing.
- "Transcriptional, post-transcriptional or epigenetic regulation of gene expression" were changed to "gene expression by any mechanism" to encompass a wide range of mechanisms without exhaustively listing all steps at which gene expression may be altered.
- "Gene silencing" and "gene transfer" were added as further examples of gene doping methods.
- "Polymers of" was removed to reflect standard scientific terminology for nucleic acids.
- Regarding stem cells, reiterating the statement in the Prohibited List Q & A, non-transformed stem cells, used alone (with no growth factors or other hormones added) for healing injuries are not prohibited, as long as they return the function of the affected area to normal and do not enhance it.

Substances and Methods Prohibited In-Competition

S6 STIMULANTS

- Octodrine (1,5-dimethylhexylamine) was added as an example of Specified Stimulants. This substance was recently found in some dietary supplements.
- It is clarified that administration of imidazole derivatives is not prohibited when used by dermatological, nasal and ophthalmological routes.

S7 NARCOTICS

- For clarity it was stated that all optical isomers are prohibited. This clarifies the prohibited status of optical isomers such as levomethadone.

S6 CANNABINOIDS

- The wording of S8 Cannabinoids was updated for greater clarity. The substances that are prohibited were not changed. All natural and synthetic cannabinoids are prohibited including any preparation from cannabis or any synthetic cannabinoid. Natural Δ^9 -tetrahydrocannabinol (THC) and synthetic THC (e.g. dronabinol) are prohibited. All synthetic cannabinoids that mimic the effects of THC are prohibited.
- Cannabidiol (CBD) is not prohibited. However, athletes should be aware that some CBD products extracted from cannabis plants may also contain THC that could result in a positive test for a prohibited cannabinoid.



2020年監視プログラム*

以下の物質が2020年監視プログラムに掲載される:

1. **蛋白同化薬**: 競技会(時)および競技会外: エクジステロン
2. **ベータ2作用薬**: 競技会(時)および競技会外: ベータ2作用薬同士の組合せ
3. **2-エチルスルファニル-1H-ベンゾイミダゾール(ベミチル)**: 競技会(時)および競技会外
4. **興奮薬**: 競技会(時)のみ:
ブプロピオン、カフェイン、ニコチン、フェニレフリン、フェニルプロパノールアミン、ピプラドロール、シネフリン
5. **麻薬**: 競技会(時)のみ: コデイン、ヒドロコドン、トラマドール
6. **糖質コルチコイド**:
競技会(時)(経口使用、静脈内使用、筋肉内使用又は経直腸使用以外の投与経路)
競技会外(すべての投与経路)

*世界アンチ・ドーピング規程(4.5): "WADAは、署名当事者及び各国政府との協議に基づき、禁止表に掲載されてはいないが、スポーツにおける濫用のパターンを把握するために監視することを望む物質について監視プログラムを策定するものとする。"

2020 年監視プログラム 主要な変更の要約と注釈

エクジステロンは、濫用のパターンと濫用状況を評価するため監視プログラムに盛り込まれた。他のエクジステロイドも存在するが、大部分のデータ（特にアスリートの競技パフォーマンスに対する影響）および関係者の意見が主としてエクジステロンに関するものだったため、2020年監視プログラムに追加した。

* 以前の変更と説明の詳細については、www.wada-ama.org/en/questions-answers/prohibited-list-qaにある禁止表 Q&A を参照されたい。

THE 2020 MONITORING PROGRAM*

The following substances are placed on the 2020 Monitoring Program:

- 1. Anabolic agents:** *In- and Out-of-Competition:* ecdysterone
- 2. Beta-2-agonists:** *In- and Out-of-Competition:* any combination of beta-2-agonists
- 3. 2-ethylsulfanyl-1H-benzimidazole (bemitil):** *In- and Out-of-Competition*
- 4. Stimulants:** *In-Competition only:* bupropion, caffeine, nicotine, phenylephrine, phenylpropanolamine, pipradrol and synephrine
- 5. Narcotics:** *In-Competition only:* codeine, hydrocodone and tramadol
- 6. Glucocorticoids:** *In-Competition* (by routes of administration other than oral, intravenous, intramuscular or rectal) and *Out-of-Competition* (all routes of administration)

*The World Anti-Doping Code (Article 4.5) states: "WADA, in consultation with Signatories and governments, shall establish a monitoring program regarding substances which are not on the Prohibited List, but which WADA wishes to monitor in order to detect patterns of misuse in sport."

SUMMARY OF MAJOR MODIFICATIONS AND EXPLANATORY NOTES

MONITORING PROGRAM

Monitoring Program

- Ecdysterone was included in the Monitoring Program to assess patterns and prevalence of misuse. While other ecdysteroids exist, most data (especially concerning effects on athletic performance) and stakeholder comments centre around ecdysterone, and consequently it was added to the Monitoring Program of 2020.

* For further information on previous modifications and clarifications please consult the Prohibited List Q & A at www.wada-ama.org/en/questions-answers/prohibited-list-qa

THE WORLD ANTI-DOPING CODE
The 2020 Prohibited List International Standard

世界アンチ・ドーピング規程
2020年禁止表国際基準

2020年1月1日発効

2019年11月発行

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

